

地震・津波への対応について

香川県立観音寺第一高等学校
全日制

強い地震が起こった場合 (補足) 生徒の安全確保を最優先に考え下記の通り対応します。日頃から家庭でも防災対策について話し合う機会を持つようお願いします。

(補足) 強い地震とは単純に震度で示すことはできませんが震度5弱で「大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。道路に被害が生じることがある。」とされています。(気象庁「震度階級関連解説表」より一部抜粋)

1 自宅にいるとき

- ・自宅待機する。(可能ならば) Classi の欠席連絡を利用してその旨を連絡する。
ただし、公共交通機関が運行されている場合は原則、登校する。

2 登下校しているとき

- ・まずは各自で安全を確保する。その後、状況によって以下の(1)～(4)のいずれかの対応をする。
 - (1) 自宅へ戻る。
 - (2) 指定緊急避難場所へ避難する。
通学路から近い指定緊急避難場所を確認しておくこと。各自治体のハザードマップ等参照
 - (3) 登校する。
 - (4) 公共交通機関利用の場合は乗務員、駅員等の指示に従う。

3 学校にいるとき

- ・机の下に潜る等してその後、運動場へ避難
- ・校舎の安全確認ができたなら、教室等へ戻る。可能ならば授業再開
- ・授業再開が困難な場合、校内の安全な所で待機。通学路の安全が確認でき迎えが可能なら保護者へ引き渡し (注)

○地震発生後、香川県に津波警報が発令された場合

- ・地震後、校舎の安全確認ができたなら校舎2Fより上階に避難
- ・通学路の安全が確認でき迎えが可能なら保護者へ引き渡し (注)

(参考) 令和7年7月1日香川県地震・津波被害想定検討委員会発表
南海トラフ地震(最大クラス)における予想

- ・浸水深30cm到達予想時間：観音寺港の最高津波到達時間は398分後
- ・浸水想定：本校のある地域の浸水は0.3m未満

(注)(1) 地震発生直後は連絡が取りにくい状況が考えられます。迎えの依頼をする連絡ができない可能性もありますがその場合、校内の安全な場所で避難待機します。

(2) 自宅よりも本校の方が安全と考えられる場合は、そのまま学校に待機することも考えられます。本校体育館は観音寺市の指定避難場所となっています。

令和7年9月1日